

向陽台病院インフォマガジン

こもれび

秋

第 3 号

発行:2004年 10月1日
向陽台病院広報委員会



季節の花

CONTENTS

- 地域連携
- 部署紹介・施設紹介
- 新人紹介
- 診療プログラム
- 病院の動き
- こもれび・ぷらざ



見せばや(ミセバヤ)

「見せばや」は「誰かに見せたいほど美しい」ことから「見せたい」の意味。別名・たまのお。原産地は日本や中国。19世紀末にヨーロッパに伝わり、「シーボルトのベンケイソウ」と呼ばれている。



地域連携

院内や地域で開催されたた行事をご紹介します

はってん祭

8月5・6日、植木町のはってん祭の準備と進行手伝いのために「なでしこ」から職員2名が参加し、真夏の太陽の下、植木町役場の職員やはってん祭実行委員の方とともに作業に取り組みました。

6日に行われたはってん祭の出店には、町内の酒屋さんや共同作業所の出店などもありました。また、植木町建築協会のテントがあり、そこでは椅子、すのこ、竹とんぼやアニメのキャラクターを模した壁掛けを作業員がその場で製作して、見に来た子供に無料で配っていました。

会場では、目玉の一つに商工会や小学校で作成した空き缶アートや、各地区で作られた空き缶神輿のコンテストも行われ、趣向を凝らした作品が多々あり、見るだけで楽しむことができました。また、夜に行われた植木町総踊りでは浴衣姿の地域の方が多く、上品に踊られている姿に思わず見惚れてしまいました。途中から踊りの輪に加わり、他の方の踊りを見ながら2、3度同じ曲で踊るため踊りに慣れ、初めて参加した私も楽しんで踊りました。

はってん祭は、地域の方がみんなで力を出し合い作り上げている祭りだとつくづく感じました。来年は、「なでしこ」でも出店をしてはってん祭に参加していきたいと思います。
(地域生活支援センターなでしこ 湯川 聡)

夏まつり

8月11日に第37回向陽台病院の夏祭りを開催しました。前日までは夕立も続き、当日の天候が心配されましたが、最後まで崩れることなく無事終えることができました。

だんだんと薄暗くなり提灯の明かりが徐々に灯ってきたところで、中庭に浴衣や甚平を着た患者様やスタッフが集まりました。

黒潮太鼓、炭坑節などの4曲をこの日のために皆さん1ヵ月ほど前から練習してきました。上手に踊っている人、皆が踊っているのを見ている人と参加の仕方は

さまざまで、それぞれに楽しんでいただけたと思います。皆が楽しみにしていた夜店では、今年からは新ダイケア棟の喫茶店「向」よりも出店がありアイスクリーム、かき氷、くじ引き等が出店されました。また途中で提灯が消えてしまうというハプニングの中行われた2回目の踊りなど、いろいろと楽しむことが出来たのではないのでしょうか。

昨年は途中で降り出した雨のためできなかった花火も今年は行うことができ、皆で夏を感じることが出来たと思います。(レク委員 坂口 健一)



合志川河川清掃に参加



平成16年8月21日、連日オリンピックの速報が流れ、当日も競泳では金メダルを取った報道で沸いていました。ふと、昔は川で泳いでいた時代もあったよなと思いつつ、現在の川ではとてもじゃないが泳げないなど感慨にふけり、あまりにもボーっとして遅刻しそうだったので、慌てて家を出ました。

そう、今日は河川清掃のボランティアがある、遅刻は出来ない。眠い目をこすりながら、植木町が主催の「くまもと・みんなの川と海づくりデー」に参加しました。これは、熊本県が提唱する「くまもと・みんなの川と海づ

くり県民運動」の一環で、植木町では合志川の河川清掃になっています。当日は朝早い時間帯にもかかわらず、向陽台病院と地域生活支援センターなどでこれから職員が21名、利用者が2名の参加がありました。会場には私たち以外に、地域の方々をはじめ、植木北中学校の生徒さんたちも参加していました。中学生に負けてはいられないと、ゴミ袋をつかむ手に力が入りました。清掃作業は朝早かったため日中のような暑さもなく、風が吹くと気持ちがいい中での作業となりました。向陽台病院が担当したのは河川公園周辺でした。タバコの吸殻や空き缶などが目立ちましたが、植木町の花火大会が延期になったためか、川をきれいにする意識が浸透したのか、例年に比べてゴミの量は少なかったようです。

川を汚さない、ゴミは持ち帰る。この意識が広まれば、以前のような泳げる川に変わっていくのでしょうか。次の世代に残すため、これからも河川清掃に参加していこうと感じました。今回、河川清掃のボランティアに参加してくださった、皆さんには心から感謝します。(精神保健福祉士 須藤 史朗)



敬老会

(レク委員 佐藤 良)



9月8日の14時から15時までの1時間、敬老会を全病棟70歳以上の患者さまを対象に、南1病棟デイルームで開催しました。南1病棟からは34名全員、南2病棟3名、南3病棟32名、北病棟3名の合計72名の参加でした。まずは、院長からの挨拶にはじまり、今回の参加者の中で最高齢97歳の患者さんに看護部長から花束の贈呈がありました。その時の患者さんのうれしそうな表情がとても印象的でした。

今回はボランティアで参加いただきました、琴城流大正琴琴泉会レインボー』のみなさんによる、大正琴の演奏が行われました。「ふるさと」や「世界に1つだけの花」など全9曲を披露していただきました。患者さんは曲に合わせて歌ったり、手拍子をしたり、手話をしながら楽しめた様子

で、大変喜ばれていました。また、『デイケアコーラス部』の「涙そうそう」の合唱がありました。デイケアのみなさんの練習の成果が十分に発揮され、すばらしいコーラスを聴くことができました。これから予定されている文化祭でも活躍されることでしょう。今からとても楽しみにになりました。このように今年の敬老会は参加された患者さん、ボランティアのみなさん、スタッフの全員で楽しむことができ、いい思い出を残せたのではないかと思います。(レク委員 佐藤 良)

部 署 紹 介

北 病 棟

師長 曾我部 美鈴



北病棟はその名の通り病院の一番北側にあり、夏は心地よい風と一緒に過ごすことができる定床48床の亜急性期病棟です。

亜急性期病棟は、急性期での治療を終え、退院を目標とし治療を継続されたり、症状悪化と軽快を繰り返し長期入院となっている患者様、また老齢化に加え身体的な合併症

を持たれたり、一旦は社会復帰したものの、状態悪化で再入院となったなど、さまざまな患者様がいらっしゃいます。

そのような中、私たちスタッフ（看護師18名、看護補助者4名）は、他の職種と連携を取りながら、患者様の希望やニーズの理解に努め、治療ミーティングやOT活動を通し、病

によって低下した活動性や機能を患者様自らが取り戻し、地域の中で生活ができるような援助もチームで行っています。しかし、症状悪化による不穏や、長期入院によるトラブルなどで静かな環境が提供できないことが多々あります。そんな時は患者様と職員でミーティング（コミュニティミーティング）を開き、病棟全体の問題として皆さんからたくさんの意見をいただいています。時に厳しいご意見もありますが、それも私たちスタッフへの叱咤激励と受け止め、これからも頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

地域生活支援センター

なでしこ

センター長 平田 ゆかり

地域生活支援センター「なでしこ」は、向陽台病院の東側に隣接し、共同住居「陽だまり」の1階にあります。なでしこは、地域で生活している精神障害者の方が、病気などの悩みや生活していて困ったことなど、気軽に相談にきていただける場、仲間同士で憩える場として平成15年4月に開設されました。

利用者の皆様のご相談をお受けしながら、月曜日から土曜日の9時から19時までご利用いただいています。スタッフは、看護師1名、精神保健福祉士2名、准看護師1名、

生活指導員1名の計5名です。

「こもれび」にも掲載されています。肥後狂句は、毎週月曜日に開催しており、月々の課題である笠の句をあれこれ考え、楽しい句が飛び出します。

毎週土曜日は料理教室です。安く、おいしく、簡単にでき、デイケア・デイナイトケアが休みの日の食事確保と、作る楽しさを味わってもらおうと取り組んでいます。先日は、人参入り玉子焼きに挑戦しました。「これはいけるねー」とお互いの試食をして、にぎやかなひと時でした。

8月7日に、そうめん流しをなでしこの前庭でしました。4mほどの竹の樋でのそうめん流しは、野外なら

ではの醍醐味を味わえました。園芸活動で育てたニガウリや、ジャガイモを使ってサラダなども作って大好評でした。

その他の活動での就労支援は、トラックステーションさん・つのだ青果さん・西の大地さん・片山紙工さん等の職場でご協力いただいています。利用者の方も、暑い中一生懸命がんばっていらっしゃいます。

なでしこでは、その方のペースにあわせて生活していただくこと、仕事を続けていかれることで、その人がその人らしさを発揮されるようなお手伝いができることを目指しています。どうぞぜひ1度、なでしこにおいでください。

新 人 紹 介



精神保健指定医
田中 隆彦

一期一会を大切に、1日を悔いなく過ごすことを心がけ、皆様と楽しく仕事をしたいと思います。笑顔と優しい言葉を忘れず、患者さん、ご家族だけでなく、働く人も癒される病院を目指したいと思います。



薬剤師
平田 大志

もっと広い知識を学び、薬を安心して使ってもらえるように励みます。まだ新米ですがよろしくお願いします。



外来訪問看護師
北村 愛弓

入職して2ヵ月経ちましたが、まだまだ分からないことがたくさんあります。これからも皆様に教えてもらいながら頑張っていきたいと思います。



北病棟看護師
西田由貴子

入職してから4ヵ月が経ちました。職員の皆様に暖かいご指導をいただき充実した毎日を送っています。



南3病棟看護師
水上 明子

先輩ナースのご指導をいただきながら、私なりの看護が出来るように、子育てに仕事に頑張ります。



南2病棟看護師
川崎 真弓

いつも笑顔で、少しでも患者様の悩みを一緒に解決していけるように努力していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



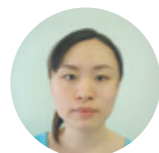
精神保健福祉士
後藤千亜紀

分からないことばかりで、ご迷惑をおかけするとは思いますが一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。



栄養士
平瀬あゆみ

入職し、もうすぐ3ヵ月を迎えます。今まで教わったこと、注意されたこと、これから教わることを全てを自分の力にし、頑張っていきたいです。



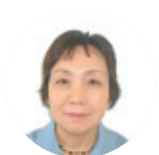
栄養士
山下 優子

短大を卒業して、こちらの病院に勤めて2ヵ月が経ちました。まだまだ未熟なところがありますが、現場栄養士として患者様に喜ばれる食事を提供していきたいと思っています。



調理師
古城久美子

精神科の広い領域のなかで独自の知識と技術を深め、悩める人にとって、悩み不安を話してもらえるような存在価値のある人に成長していきたいと思っています。



事務次長
本田 幸恵

仕事に追われている内に、3ヵ月が経ちました。働くことが自分の向上につながるよう、努力したいと思います。





P-Sミーティングの様子

P-Sミーティングって何？

このミーティングは、集団でやる治療プログラムのひとつとして、週に1回、同じ日に同じメンバーとテーマに沿ってミーティングしていきます。

“自分自身の言動に対する責任”がどの程度もてるかを知ってもらい、これを守り、有効に活用することを入院中にやっていただきたいと考えています。

- 集 団 :1グループ 10～15人
- 同じグループ :週1回(月曜グループなど)
- 同じメンバー :同室者同士など
- 内容(テーマ) :責任レベル(表参照)… 今のレベルでどう利用できたか
:服薬レベル…………… スタッフ管理～自己管理まで、確実に服薬できたか(1日分自己管理・2・2・3日分自己管理など)
- :1週間の行動…………… 治療プログラムの参加状況について
治療の進み具合について
現在の問題について

上記のテーマに沿って、自分自身の1週間の振り返りを発表し、グループの人に評価して貰い、他の人の発表にも関心を寄せ意見を出し合います。その中で、レベルの変更や服薬の方法についても希望を出します。変更が可能か適切かどうかについては、グループの参加者全員で討議し決定されます。どうしても決定出来ない時は、次の課題とする事もあります。変更された責任レベルや服薬レベルは、翌日

から実施されます。

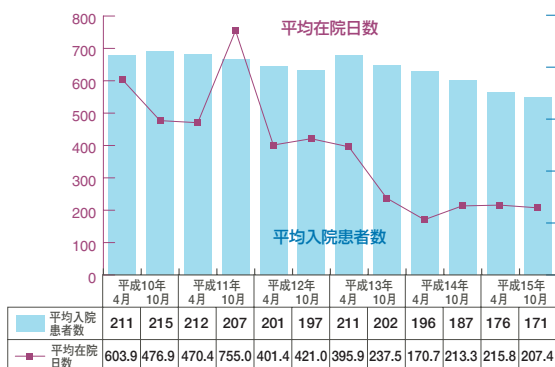
このような治療ミーティングで良かったことは①自分のことが言えるようになった。②人との付き合いが上手くなった。③他人に対する気配りが出来るようになった。などが上げられ、ミーティングの中で、他人を意識し、身なりに季節感・清潔感も増し、社会生活の適応につながっているようです。

(精神保健福祉士 大山 満子)

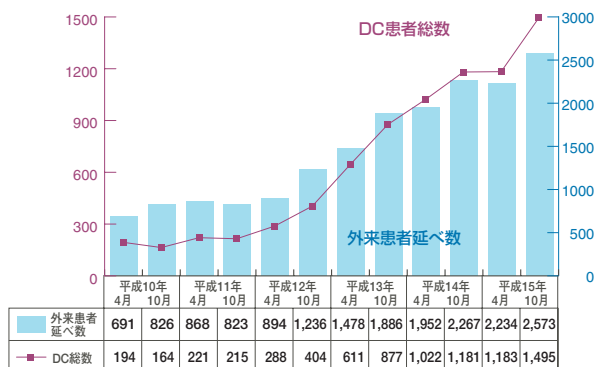
病 院 の 動 き

初回掲載は、過去5年間を振り返りました。次回から年間統計を分類ごとにお知らせします。

過去5年間 入院状況



過去5年間 外来状況



こもれび・ぱらざ

向陽台病院ではさまざまな情報を発信しています

そよ風

～向陽台そよ風家族会のお知らせ～

平成16年7月24日、向陽台そよ風家族会の講演会が向陽台病院の新デイケア棟にて開催されました。連日の猛暑ではありましたが、当日は家族会の会員の皆様をはじめ、当事者の方や地域の民生委員さん、保健師さん、また住民の方など40名近くの参加がありました。最近の家族会の例会はさびしかったので、少し賑やかになりました。

講演会は宮谷高史副院長の「うつ」についてのお話でした。先生のお話は大変分かりやすく、パワーポイントと軽快なトークで会場の皆さんは興味津々で聞き入っていました。うつ病は決して特別な病気ではなく、誰にでもなる可能性があり、几帳面な人ほどなりやすいなど、病気について知識や治療について語ってくださいました。「うつ」とつきあっていくことで治っていくと教わりました。今後もこのような講演を計画していきたいと思います。

公演後は、北海道の作業所である「べてるの家」のビデオを鑑賞しました。作業所のご利用者の話で、病気について講演とはまた別の勉強になりました。

家族会は、ご家族中心の会ですので、ご家族皆様のご参加をお待ちしています。(精神保健福祉士 須藤)

栄養だより



食欲の秋到来です！秋の味覚を楽しみましょう！

食欲の秋とは言いますが、この季節は夏に消耗した体力を回復するための期間とも言えます。食欲があるからといって、たくさん食べ過ぎたりすると、体調を悪くしやすいものです。旬の食材は、栄養価が高く、食材の持ち味が活かされており大変美味です。いろいろな食材を選び、腹八分目に食べて、疲れた体をゆっくり回復しましょう。

また、気温も下がってきますので、運動などをするにはもってこいの季節です。熱中症などの心配は低くなりますが、運動をする際には十分な水分補給をしましょう。

旬の食材

- 魚介類………鮭・秋刀魚・さば・かます・鯛
海老など
- 野菜・果物…きのこ類・いも類・茄子・レンコン
南瓜・柿・栗・梨・ぶどうなど



栄養部のこれからの予定

11月(文化祭)

昼食は折詰めの軽食を提供させていただきます

11月(バイキング)

季節の食材を使ったバイキングを行う予定です

12月(クリスマスバイキング)

クリスマスにちなんだバイキングを行う予定です

1月(正月)

お雑煮やおせちを提供させていただく予定です

(管理栄養士 江口)

編集後記

今回、第3号の発行を終えることができました。こうした中にも、当院では電子カルテがひと段落したところですが、今月は病院機能評価の受審月でもあります。さらなる医療サービスの向上にスタッフ全員が取り組んでおります。(広報 松村)

病院理念

主体性を育む病院

- 主体性が障害されている患者さんであっても、同時に多くの未知数の能力を持っている
- 患者さんは責任ある行動をとりうるし、援助能力を持っている
- 治療導入時は受動的であっても、最終目標は患者さんの主体性をとり戻すことである

援助者としてのチーム医療を行う病院

- 患者さんの援助者として、表面的でなく、必ず治療的であること
- チーム内の決定は民主制を取っているわけではないが、治療上の重要な決定はチームによって成されることが最良である
- チーム内での情報の共有化は極めて大切であるが、いかなる情報も外部に漏らしてはいけない(守秘義務)

地域社会の一員を意識する病院

- 常に共同体の意識を備え、開放的で自由な雰囲気築き、責任を持つこと
- こころを癒し、こころの健康を取り戻して回復できる環境を提供できる病院であること

当院では平成8年から福岡県の野添病院の治療共同体理念をモデルにしています。

外来担当医一覧表

	月	火	水	木	金	土
午前	宮谷 城	横田 松本	横田 宮谷	田中 城	横田 田中	菊岡 週替わり
午後 予約	中林	城	津田	橋本	宮谷	
新患午前	横田	宮谷	城	宮谷	松本	田中
新患午後	松本	松本	田中	城	田中	

●診療科目 精神科・心療内科

●病床数 220床

●外来診療時間

月～金曜日 午前9時40分～12時30分
午後2時30分～ 5時00分
土 曜 日 午前9時40分～12時30分



産交バス
向坂バス停から徒歩3分
明治乳業バス停
から徒歩3分

車
植木ICから10分

JR
植木駅下車
タクシーで6分



医療法人横田会 向陽台病院 <http://www.koyodai.or.jp/>

〒861-0142 鹿本郡植木町大字鑑田1025 TEL:096-272-7211